事業実績報告書

様式２
（2022年度）

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-17	講座名	山崎川の自然を知ろう！
記載日	2022/5/30	団体名・企業名	山崎川グリーンマップ

〈講座全体の概要〉(300字程度)

名古屋市内を流れる都市河川、山崎川にとその周辺には思った以上に自然が残っています。地球温暖化による猛暑や大規模護岸工事、外来種の放流などにより数を減らしたり、ここ数年の間に姿が見られなくなっている生き物もいます。その事実を次世代に伝え、今いる生き物を守っていこうという方向性を作り出すことが、講座主催者の一番の思いです。新型コロナパンデミックのこの時期には、残念ながら密を避けるために、多くの参加者を集めることが出来ませんが、小規模ながらも観察会を続けていくことが大切なのだと思っています。

※写真１の説明

4月9日　mizuhotosyokann

※写真２の説明

5月28日　山崎川の生き物観察

〈 企画・運営者の声 (感想) 〉(350字程度)

4月の野鳥の観察会は、参加数も少なく｛12名｝、野鳥の観察がやりやすかったです。例年になく春の気温が高く、冬鳥の多くがすでに北の国に帰ってしまったおり、種類が少なかったのが残念でした。しかし、鳥の専門家の見る目は素晴らしく、参加者が満足できる十分な数の鳥が見られました。　5月の川の生き物観察会は、予定していた以上の参加者が集まり、主催者側は焦りました。5月は、魚がじゅうぶんに大きく育っておらず、数の少ないのですが、そんな時期にも絶滅危惧種のウナギやドジョウが見つかったほか、スッポンの赤ちゃんが見つかったのは驚きました。この時期に観察会を行なったのは、初めてなのですが、夏の暑さを気にしないですむのは、気楽でした。

〈 受講者の声(実感した反応及びｱﾝｹｰﾄより) 〉(3～5点、計350字程度)

http://www1.m1.mediacat.ne.jp/a-ohya/